

「第1回産業動物における再生医療シンポジウム」

主催：一般社団法人動物再生医療推進協議会

日時：2023年3月26日（日）13：00～17：30

場所：エッサム神田ホール2号館（JR神田駅より徒歩2分）

開催形式：対面とwebのハイブリット形式

参加費：当法人会員およびweb参加者は無料、非会員対面参加者は1,000円

お申し込み：<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfo1wgL4RCv2PCIUYwxWBwu2nBXInMmEXhHbn-T3cf7Z2WamA/viewform>（GoogleFORMSに移動します。）

シンポジウム開催の趣旨

2021年、我が国で初の動物細胞加工製品として「犬用同種脂肪組織由来間葉系幹細胞」が承認されました。承認までには、一般の愛玩動物獣医師が行ってきた動物再生医療分野の治療行為や臨床研究が土台となって様々なデータが積み上がってきた歴史があります

一方、産業動物用再生医療等製品の開発の推進を図るためには、上記の経緯と同様、まず一般の産業動物獣医師が行う治療行為や臨床研究の積み重ねが重要だと考えられます。しかしながら、産業動物においては、細胞を投与された動物由来食品の安全性担保が重要なポイントとなることもあり、動物再生医療技術の利用は進んでいません。

CARMでは、愛玩動物のみならず産業動物での再生医療等製品の可能性を探りさらには実用化を促進するため、本シンポジウムにおいて、産業動物における再生獣医療ならびに臨床研究の現状と産学官民における課題を把握し、関係者間で広く共有したいと考えています。なお、最近急速に研究が進展している培養細胞食品の現状についてもご紹介いただき、将来的な連携の可能性を模索したいと考えています。

プログラム

開会 13：00

13：00－13：05 開会あいさつ（山本 実理事長）

13：05－13：10 シンポジウム企画趣旨説明（山口智宏理事）

座長：山口智宏理事

総説1

13：10－13：40 産業動物獣医療の現状と課題
佐藤 繁先生（岩手大学名誉教授）

総説2

13：40－14：10 動物再生医療のレギュレーションと産業動物利用のポイント
能田 健先生（農林水産省動物医薬品検査所）

各論1

14：10－14：40 家畜における脂肪由来幹細胞を用いた受胎成績向上の試み

村瀬哲磨先生（岐阜大学共同獣医学科教授）

各論 2

14：40－15：10 再生医療技術の競走馬臨床への導入を目指して
笠嶋快周先生（JRA 競走馬総合研究所所長）

15：10－10：25 休憩

各論 3

15：25－15：55 新生子牛に対する他家由来活性化リンパ球（LAK）投与による免疫機能強化
小比類巻正幸先生（（有）小比類巻家畜診療サービス）

情報提供 1

15：55－16：10 海外での産業動物における再生医療の現状
宮崎 茂先生（生物科学安全研究所）

情報提供 2

16：10－16：40 細胞農業業界の展望と今後の論点
吉富愛望アビガイル先生（東京大学 先端科学技術研究センター/ 細胞農業研究機構）

16：40－16：45 パネルディスカッション準備

パネルディスカッション

司会：岩井隆也理事

16：45－17：15 「再生医療の産業動物への応用の可能性と課題」 メッセージの発信

17：15－17：20 閉会挨拶（枝村一弥副理事長）

閉会 17：30

*対面参加の方で、終了後に情報交換会の開催を予定しています。